

広島県推進委員メッセージ



北方領土返還要求運動広島県民会議におかれましては、日頃から、北方領土の返還に向け、積極的に運動を展開されており、県民大会をはじめとする多大な御尽力に対しまして、心から感謝を申し上げます。

北方領土は、今もなお、帰属の問題が解決されておらず、ロシアによる占拠が続いていますが、その一方で、生存されている元島民の方は、昨年3月末現在で平均年齢86歳と高齢化が進み、解決にこれ以上の歳月を費やすことは許されません。

このような中、広島県民会議におかれましては、各構成団体や市町と連携し、各種の広報・啓発事業に取り組んでおり、令和元年8月には、県内の中学生と教員20名が、北方領土隣接地域を視察する事業にも参加しています。

北方領土問題を進展させるためには、今後とも県内における運動の推進役として、若い世代を巻き込みながら、県民世論を盛り上げ、外交交渉を後押しする取組が重要です。

今回、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を優先し、昨年につき、やむなく、県民大会の開催が見送られたところですが、今後とも、様々な取組により、北方領土返還要求運動を粘り強く進めてまいりますので、皆さまの御支援、御協力をお願いいたします。

一緒にがんばりましょう。

令和4年2月

独立行政法人 北方領土問題対策協会
広島県推進委員 金山 泰正